

(参考資料)

学 校 保 健 統 計 調 査

静岡県の調査と文部科学省の調査の違いについて

○身長、体重の発育状態調査の対象者

- ・静岡県…調査実施対象校の在籍者全員
ただし、高等学校は定時制課程を除く
- ・文部科学省…調査実施対象校に在籍する児童生徒のうちから抽出された者

○栄養状態

- ・静岡県…痩身傾向 肥満度-20%以下の者
肥満傾向 肥満度 20%以上の者
- ・文部科学省…内科検診での学校医の指摘を受けた者

全 国 疾 病 ・ 異 常 被 患 率 等

朝 食 摂 取 状 況 調 査 報 告 書

令和4年度学校保健統計調査結果（確報）

静岡県の概要

令和5年11月28日に文部科学省から公表された「令和4年度学校保健統計調査結果（確報）」の静岡県の概要をまとめた。

令和4年度については、令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間が年度末まで延長された。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、全国値・他の都道府県の数値及び過去の数値と単純比較することはできない。

調査の概要

- 「学校保健統計調査」は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、昭和23年度から毎年実施
- 対象者は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（令和4年4月1日現在）までの幼児、児童及び生徒の一部（抽出調査）
- 調査事項は、①発育状態調査：身長及び体重、②健康状態調査：栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、耳鼻咽喉頭疾患、皮膚疾患、歯・口腔に係る疾病・異常等
- 調査は、調査実施校において4月1日から6月30日の間に行われる学校保健安全法による健康診断等の結果に基づき実施（令和4年度については、令和4年4月1日から令和5年3月31日）

令和4年度静岡県の調査実施校数及び調査対象者数

区 分	学校数	在学者数	調査実施校数	調査対象者数	
				発育状態	健康状態
	(校)	(人)	(校)	(人)	(人)
幼稚園	340	27,734	44	1,462	1,979
幼保連携型認定こども園	291	36,636			
小学校	501	180,451	61	5,754	32,939
中学校	289	97,226	42	4,722	18,364
高等学校	138	89,919	33	2,925	25,010
計	1,559	431,966	180	14,863	78,292

注1：学校数及び在学者数は令和4年度学校基本統計による

注2：発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている

注3：幼保連携型認定こども園については、保育を要する5歳児（いわゆる2号認定）も調査対象者に含まれる

注4：小学校には義務教育学校（第1～6学年）を、中学校には義務教育学校（第7～9学年）及び中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む（ただし、令和4年4月1日現在本県内には中等教育学校はない）

- 全国の統計表は、文部科学省ホームページを参照
URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm
- 本調査結果については、文部科学大臣が公表するデータが確定値である

1 発育状態

(1) 身長・体重の平均値（全国との比較）（表1-1）

○本県の児童等の身長・体重は全国平均を下回る。

- ・本県の児童等の身長は、男子が5歳、15歳及び17歳を除くすべての年齢で、女子は5歳及び13歳を除くすべての年齢で全国平均を下回っている。（表1-1）
- ・体重は、男子が5歳及び11歳を除くすべての年齢で、女子は13歳及び16歳を除くすべての年齢で全国平均を下回っている。（表1-1）

表1-1 身長・体重の平均値 全国との比較

区分			身長(cm)			体重(kg)			
			静岡県	全国	差	静岡県	全国	差	
男	幼稚園	5歳	111.1	111.1	0.0	19.4	19.3	0.1	
		小学校	6	116.1	117.0	△ 0.9	21.2	21.8	△ 0.6
	7		122.6	122.9	△ 0.3	24.2	24.6	△ 0.4	
	8		128.4	128.5	△ 0.1	27.5	28.0	△ 0.5	
	9		133.5	133.9	△ 0.4	31.1	31.5	△ 0.4	
	10		138.8	139.7	△ 0.9	34.8	35.7	△ 0.9	
	11		145.8	146.1	△ 0.3	40.3	40.0	0.3	
	中学校	12	153.7	154.0	△ 0.3	45.3	45.7	△ 0.4	
		13	160.8	160.9	△ 0.1	50.1	50.6	△ 0.5	
		14	165.5	165.8	△ 0.3	54.6	55.0	△ 0.4	
	高等学校	15	168.7	168.6	0.1	59.0	59.1	△ 0.1	
		16	169.7	169.9	△ 0.2	60.6	60.7	△ 0.1	
		17	171.0	170.7	0.3	62.4	62.5	△ 0.1	
	女	幼稚園	5歳	110.4	110.2	0.2	18.9	19.0	△ 0.1
			小学校	6	115.9	116.0	△ 0.1	20.9	21.3
		7		121.3	122.0	△ 0.7	23.6	24.0	△ 0.4
		8		127.9	128.1	△ 0.2	27.0	27.3	△ 0.3
9		134.1		134.5	△ 0.4	30.6	31.1	△ 0.5	
10		141.3		141.4	△ 0.1	34.9	35.5	△ 0.6	
11		147.5		147.9	△ 0.4	39.5	40.5	△ 1.0	
中学校		12	152.0	152.2	△ 0.2	44.3	44.5	△ 0.2	
		13	155.2	154.9	0.3	47.8	47.7	0.1	
		14	156.4	156.5	△ 0.1	49.4	49.9	△ 0.5	
高等学校		15	156.9	157.2	△ 0.3	50.7	51.2	△ 0.5	
		16	157.5	157.7	△ 0.2	52.2	52.1	0.1	
		17	157.7	158.0	△ 0.3	52.1	52.5	△ 0.4	

*年齢は、各年4月1日現在の満年齢（以下の各表において同じ）

*「0.0」は計数が単位未満の場合、「-」は該当者がいない場合、「…」は調査対象とならなかった場合、「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない場合である（以下の各表において同じ）

<参考> 身長・体重の平均値の全国順位

5歳

身長					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (cm)	順位	都道府県名	平均値 (cm)
		全国平均			全国平均
1	富山	112.7	1	秋田	111.6
2	新潟	112.3	2	石川	111.5
3	青森	111.9	3	青森	111.4
3	石川	111.9	3	富山	111.4
5	岩手	111.7	5	岩手	111.2
5	福井	111.7	:		
		:	14	静岡	110.4
15	静岡	111.1			

体重					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (kg)	順位	都道府県名	平均値 (kg)
		全国平均			全国平均
1	青森	20.1	1	青森	20.0
2	岩手	20.0	2	岩手	19.6
3	富山	19.9	2	秋田	19.6
3	群馬	19.9	4	富山	19.4
3	徳島	19.9	4	福島	19.4
		:	4	山形	19.4
		:	:		
20	静岡	19.4			
		:	22	静岡	18.9

11歳

身長					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (cm)	順位	都道府県名	平均値 (cm)
		全国平均			全国平均
1	青森	147.7	1	秋田	149.1
2	岩手	147.5	2	青森	149.0
2	宮城	147.5	2	新潟	149.0
4	秋田	147.2	4	山形	148.9
5	富山	147.0	5	東京	148.7
		:	:		
26	静岡	145.8	32	静岡	147.5

体重					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (kg)	順位	都道府県名	平均値 (kg)
		全国平均			全国平均
1	青森	43.6	1	秋田	42.2
2	宮城	42.8	2	山形	42.0
3	岩手	42.5	3	福島	41.9
4	北海道	41.7	4	青森	41.8
5	秋田	41.6	4	岩手	41.8
		:	:		
14	静岡	40.3	45	静岡	39.5

14歳

身長					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (cm)	順位	都道府県名	平均値 (cm)
		全国平均			全国平均
1	秋田	167.2	1	富山	157.3
2	青森	166.7	2	秋田	157.2
3	石川	166.6	2	新潟	157.2
4	山形	166.5	4	石川	157.1
4	新潟	166.5	5	山形	157.0
		:	5	福井	157.0
30	静岡	165.5	5	滋賀	157.0
		:	:		
		:	20	静岡	156.4

体重					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (kg)	順位	都道府県名	平均値 (kg)
		全国平均			全国平均
1	青森	57.6	1	青森	51.6
2	秋田	57.4	2	山形	51.1
3	山形	56.8	3	福島	51.0
4	岩手	56.7	3	大分	51.0
5	宮城	56.6	3	高知	51.0
		:	:		
32	静岡	54.6	44	静岡	49.4

17歳

身長					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (cm)	順位	都道府県名	平均値 (cm)
		全国平均			全国平均
1	石川	171.7	1	福井	159.2
2	新潟	171.6	2	青森	159.0
2	滋賀	171.6	3	東京	158.8
4	青森	171.5	4	秋田	158.6
4	秋田	171.5	4	富山	158.6
4	鳥取	171.5	4	長崎	158.6
4	京都	171.5	:		
		:	26	静岡	157.7
13	静岡	171.0			

体重					
男			女		
順位	都道府県名	平均値 (kg)	順位	都道府県名	平均値 (kg)
		全国平均			全国平均
1	青森	66.0	1	福島	54.6
2	秋田	65.5	2	青森	54.4
3	大分	65.2	2	山形	54.4
4	茨城	64.8	4	山梨	54.3
5	岩手	64.7	5	秋田	54.0
		:	5	長崎	54.0
		:	:		
31	静岡	62.4			
		:	36	静岡	52.1

(2) 身長・体重の平均値の推移（静岡県）

○本県の児童等の身長・体重は近年減少又は横ばい傾向。

(図1-1、図1-2)

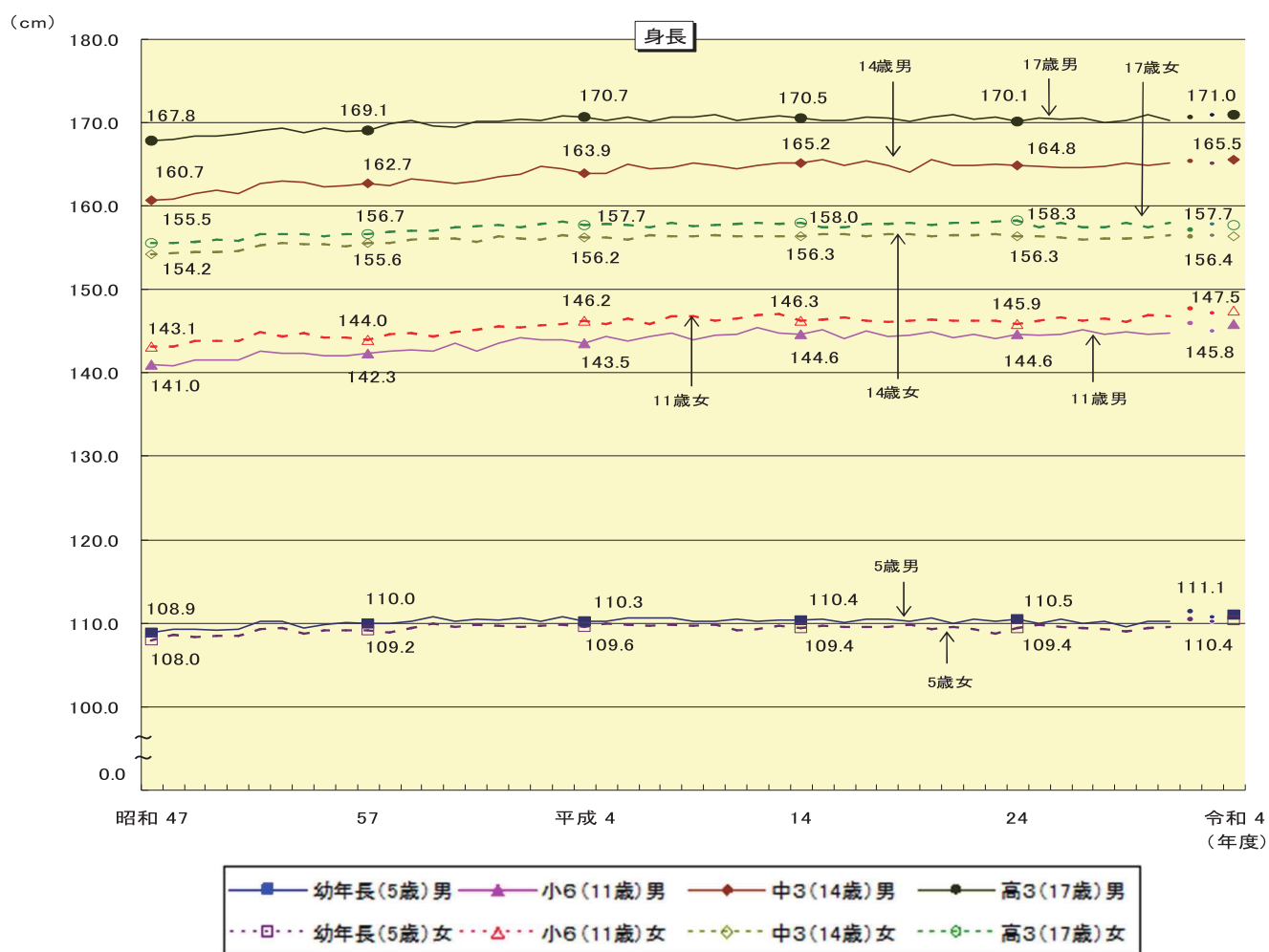
・身長

5歳、11歳、14歳及び17歳の男女の値を見ると、5歳は昭和60～平成5年度、11歳は平成12、13年度、14歳は平成15～20年度、17歳は平成21～24年度あたりがそれぞれピークとなっており、その後は、やや減少又は横ばい傾向となっている。(図1-1)

・体重

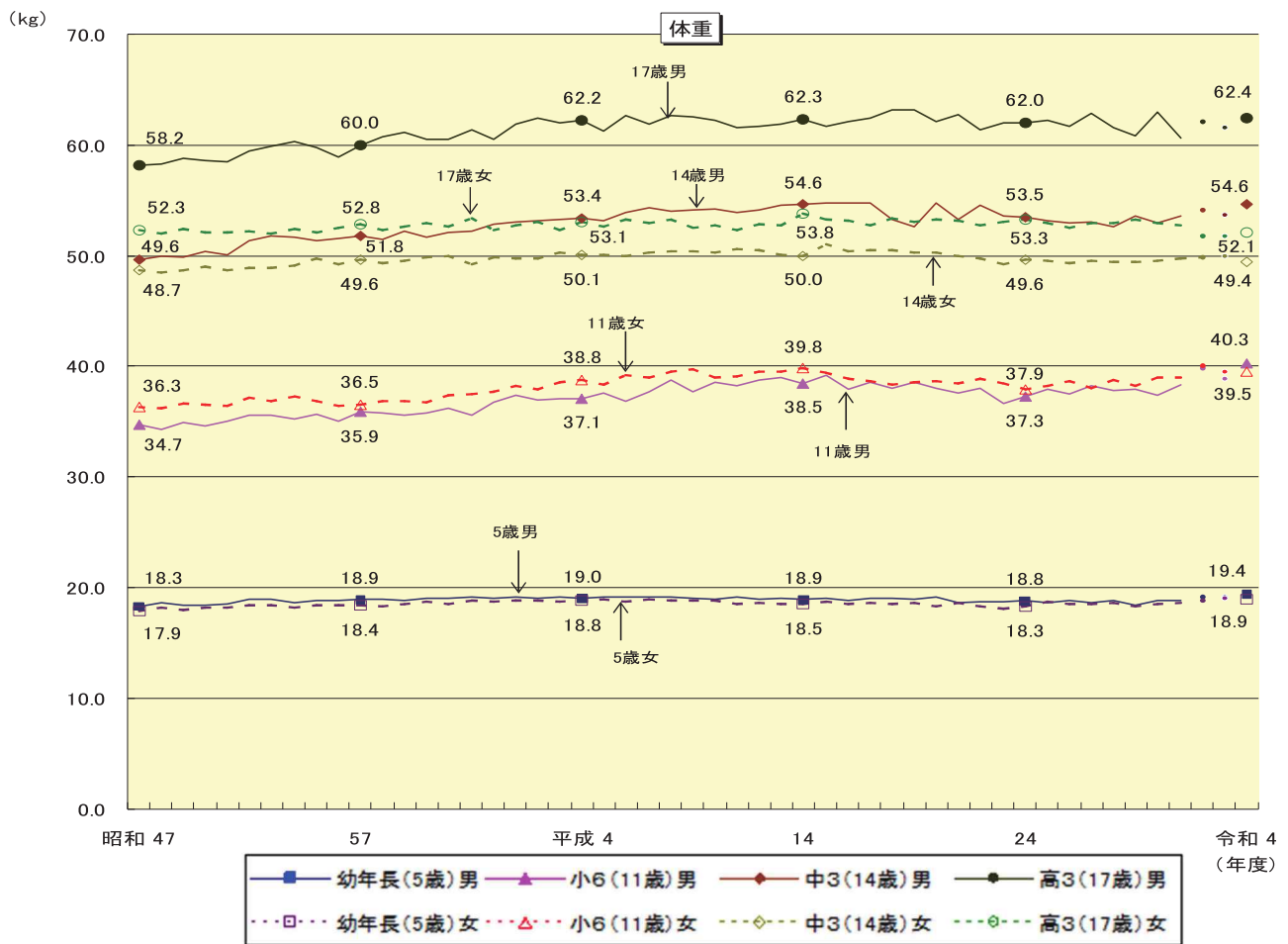
5歳、11歳、14歳及び17歳の男女の値を見ると、5歳を除き、平成14～20年度あたりがピークとなっており、その後は、やや減少又は横ばい傾向となっている。(図1-2)

図1-1 身長の平均値の推移（静岡県）



*令和2年度から令和4年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により調査時期が異なるため、令和元年度までの数値と単純な比較は出来ない。

図 1-2 体重の平均値の推移（静岡県）



*令和2年度から令和4年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により調査時期が異なるため、令和元年度までの数値と単純な比較は出来ない。

2 健康状態

- 裸眼視力1.0未満の者は概ね横ばい傾向で、高等学校以外で全国平均を下回る。
 - ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合を学校種別に見ると、高等学校以外で全国平均を下回っている。また、直近10年では概ね横ばい傾向となっている。(図2-1、図2-2)
- むし歯のある者は概ね減少傾向で、全ての学校種別で全国平均を下回る。
 - ・「むし歯(う歯)」の被患率は、全ての学校種別で全国平均を下回っている。年齢層によってばらつきはあるものの、直近10年では概ね減少傾向となっている。(図2-3、図2-4)

図2-1 学校種別 裸眼視力1.0未満の者の推移(静岡県)

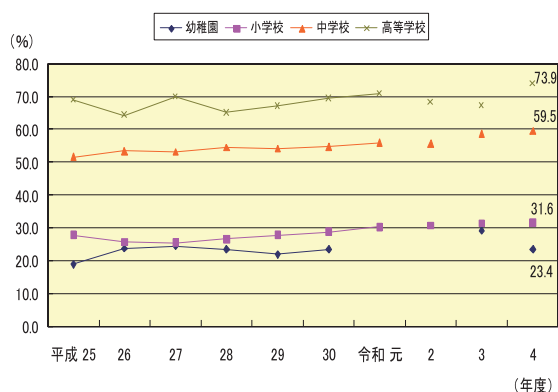
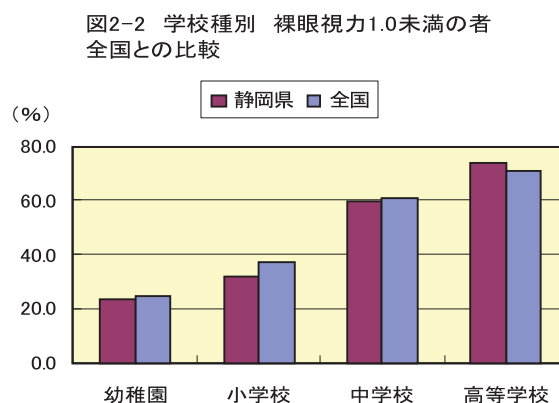


図2-2 学校種別 裸眼視力1.0未満の者 全国との比較



* 裸眼視力1.0未満の者の幼稚園に係る令和元年及び令和2年度のデータは統計数値が公表されていない。以下同じ。
 * 令和2年度から令和4年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により調査時期が異なるため、令和元年度までの数値と単純な比較は出来ない。

図2-3 学校種別 むし歯(う歯)の被患率の推移(静岡県)

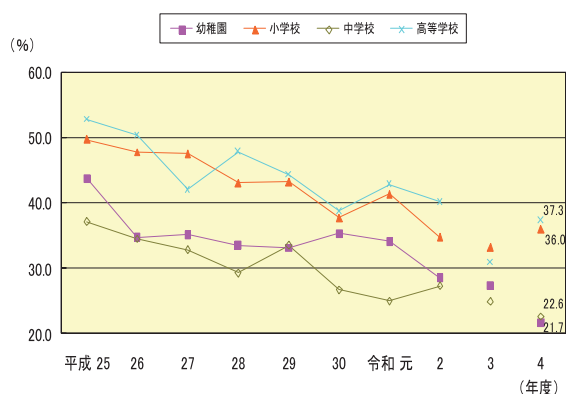
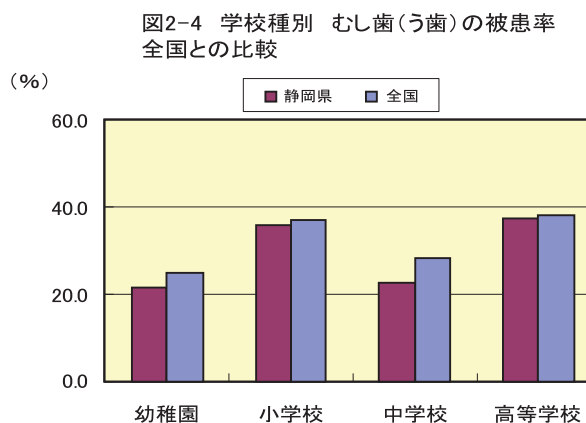


図2-4 学校種別 むし歯(う歯)の被患率全国との比較



* 令和2年度から令和4年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により調査時期が異なるため、令和元年度までの数値と単純な比較は出来ない。

(2) 年齢別 主な疾病・異常被患率等 (静岡県・男女計) (表2)

(単位：%)

区分		裸眼視力								耳鼻咽喉頭疾患		
		視力非矯正者				視力矯正者				耳疾患	鼻・副 鼻腔疾 患	口腔咽 喉頭疾 患・異 常
		1.0以上	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満	1.0以上	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満			
幼稚園	5歳	76.0	18.2	3.0	0.3	0.7	0.6	1.2	0.1	0.3	2.5	0.0
小学校	計	67.4	8.5	8.9	3.6	1.1	1.1	3.1	6.3	6.7	11.5	0.7
	6	82.5	8.9	4.2	0.9	1.0	0.9	1.1	0.4	10.5	10.1	0.9
	7	77.7	8.9	7.1	1.9	0.9	1.2	1.3	1.0	6.7	10.7	1.0
	8	70.5	9.6	9.2	3.5	1.0	0.8	2.3	3.2	6.1	14.1	0.9
	9	64.5	7.9	10.5	5.4	0.7	1.3	3.6	6.2	7.3	12.1	0.4
	10	58.0	8.7	11.0	4.6	1.4	1.3	4.1	10.9	4.6	11.6	0.6
中学校	11	53.4	7.4	10.8	4.9	1.4	1.3	5.9	15.0	5.4	10.5	0.5
	計	39.9	8.7	11.2	5.4	0.6	1.0	6.5	26.7	7.3	10.6	0.4
	12	43.7	9.5	12.1	5.2	0.6	0.8	5.3	22.9	9.0	9.7	0.5
	13	39.2	8.5	11.5	5.9	0.8	0.9	7.9	25.3	5.6	12.8	0.3
高等学校	14	36.9	8.1	10.1	5.2	0.4	1.2	6.3	31.8	7.3	9.4	0.4
	計	25.9	8.0	7.6	5.3	0.2	0.6	6.5	46.0	2.8	4.0	0.1
	15	26.1	8.3	9.0	6.5	0.3	0.8	6.0	43.0	6.1	9.8	0.1
	16	26.3	8.0	7.8	5.3	0.1	0.4	6.4	45.6	1.8	0.2	0.2
	17	25.3	7.8	5.9	4.0	0.1	0.6	6.9	49.3	0.4	1.9	0.0

区分		むし歯(う歯)			脊柱・ 胸郭・ 四肢の 状態	アトピー 性皮膚 炎	心臓の 疾病・ 異常	蛋白 検出	ぜん息
		計	処置完 了者	未処置 歯のあ る者					
幼稚園	5歳	21.7	9.3	12.5	0.0	1.8	0.2	0.1	1.3
小学校	計	36.0	20.2	15.8	0.9	3.0	0.9	0.9	1.5
	6	26.3	11.6	14.7	0.5	2.4	1.0	0.5	1.9
	7	35.8	17.5	18.3	0.6	2.9	0.7	0.6	1.1
	8	41.3	23.3	18.0	0.7	3.1	0.8	0.6	2.0
	9	44.5	25.8	18.7	0.8	2.6	1.0	0.5	1.3
	10	37.9	23.5	14.4	1.3	3.8	1.0	1.2	1.3
中学校	11	29.9	19.0	10.9	1.3	3.0	0.7	2.1	1.6
	計	22.6	14.5	8.1	2.1	2.0	0.8	3.3	1.2
	12	20.4	12.5	7.9	2.6	2.0	1.0	3.1	1.2
	13	22.8	14.2	8.5	1.7	2.3	0.8	3.7	1.3
高等学校	14	24.6	16.8	7.7	2.1	1.9	0.7	3.2	1.1
	計	37.3	25.6	11.7	0.8	1.2	0.5	2.7	0.9
	15	32.2	21.6	10.5	1.1	1.2	0.8	3.7	0.9
	16	38.1	26.2	11.9	0.5	1.2	0.4	2.6	0.9
	17	41.8	29.2	12.6	0.7	1.2	0.4	1.9	0.8

3 肥満傾向児の出現率

○ 肥満傾向児(注)の出現率は、多くの年齢で男子が女子を上回る。

- ・出現率は、男女ともに多くの年齢で全国平均を下回っている。また、7歳を除いて、男子が女子を上回っている。(表3)
- ・出現率の推移については、男子11歳、14歳が増加傾向となっている。他の年齢層については、年齢層によってばらつきはあるものの概ね横ばい傾向で推移している。(図3)

(注)肥満傾向児：性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度が20%以上の者をいう

肥満度 = (実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg)) / 身長別標準体重(kg) × 100 (%)

肥満傾向児の算出については、平成18年度から現行の方法に変更されている

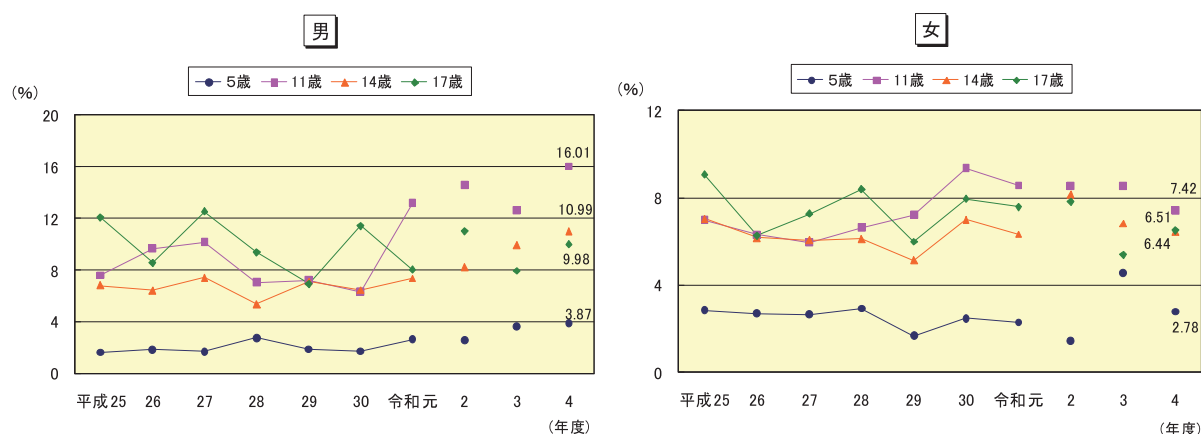
(1) 出現率 全国との比較 (表3)

(単位：%)

区分	年齢	男			女			男女の比較	
		静岡県 (a)	全国 (b)	差 (a-b)	静岡県 (c)	全国 (d)	差 (c-d)	静岡県 (a-c)	全国 (b-d)
幼稚園	5歳	3.9	3.6	0.3	2.8	3.7	△ 1.0	1.1	△ 0.2
小学校	6	4.8	5.7	△ 0.9	3.4	5.5	△ 2.1	1.5	0.2
	7	6.5	8.0	△ 1.6	6.7	7.2	△ 0.5	△ 0.3	0.8
	8	9.6	11.1	△ 1.6	6.1	9.1	△ 3.0	3.5	2.1
	9	11.8	13.2	△ 1.4	8.6	9.6	△ 0.9	3.2	3.6
	10	11.6	15.1	△ 3.5	9.9	9.7	0.2	1.7	5.4
中学校	11	16.0	14.0	2.1	7.4	10.5	△ 3.1	8.6	3.5
	12	13.4	13.3	0.1	10.0	9.5	0.5	3.4	3.8
	13	11.4	12.3	△ 0.8	9.2	9.1	0.1	2.2	3.2
高等学校	14	11.0	11.3	△ 0.3	6.4	7.7	△ 1.3	4.6	3.6
	15	11.4	12.5	△ 1.2	7.7	7.7	0.0	3.7	4.8
	16	10.6	11.1	△ 0.5	7.8	7.0	0.9	2.8	4.2
	17	10.0	11.4	△ 1.4	6.5	7.5	△ 0.9	3.5	4.0

*表の数値は、小数点以下2位を四捨五入しているため、差については計算と合致しない場合がある

(2) 出現率の推移 (静岡県・男女別) (図3)



*令和2年度から令和4年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により調査時期が異なるため、令和元年度までの数値と単純な比較は出来ない。

<参考> 全国結果

1 年齢別 児童等の主な疾病・異常被患率等（男女計）（全国値）

*表の数値は、小数点以下2位を四捨五入

(単位：%)

区分		裸眼視力								耳鼻咽喉疾患		
		視力非矯正者				視力矯正者				耳疾患	鼻・副 鼻腔疾 患	口腔咽 喉頭疾 患・異 常
		1.0以上	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満	1.0以上	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満			
幼稚園	5歳	74.6	17.4	5.0	0.6	0.4	0.7	0.8	0.4	2.4	3.0	0.7
小学校	計	61.2	10.9	10.8	5.0	0.9	1.1	3.1	7.0	6.6	11.4	0.7
	6	76.2	13.6	6.6	1.2	0.6	0.6	0.8	0.4	10.1	11.7	1.1
	7	72.0	12.3	9.0	3.0	0.7	0.7	1.1	1.1	7.0	11.2	0.8
	8	65.5	11.3	11.4	4.7	0.9	0.9	2.1	3.3	6.5	11.2	0.7
	9	57.6	10.6	12.0	6.6	1.0	1.3	3.5	7.4	6.0	12.0	0.7
	10	51.6	9.2	12.8	6.3	1.2	1.3	5.1	12.5	5.8	12.0	0.6
中学校	11	45.8	8.8	12.8	8.1	1.1	1.5	5.8	16.2	4.4	10.7	0.4
	計	37.6	10.9	14.3	7.1	1.1	1.5	6.3	21.2	4.8	10.7	0.4
	12	43.3	11.2	13.2	6.3	1.1	1.6	5.8	17.4	6.1	11.2	0.4
	13	36.7	12.1	13.7	7.4	1.0	1.5	6.6	21.1	4.4	11.2	0.4
高等学校	14	33.1	9.3	16.0	7.4	1.3	1.5	6.4	25.1	3.8	9.8	0.3
	計	28.0	10.4	11.6	6.7	0.4	1.0	6.4	35.4	2.3	8.5	0.3
	15	23.1	15.1	15.8	6.8	0.3	1.0	6.2	31.8	3.1	9.3	0.3
	16	34.0	7.6	9.3	8.1	0.5	1.0	5.7	33.8	2.0	8.2	0.3
	17	27.1	8.0	9.4	5.0	0.5	1.0	7.6	41.5	1.6	7.9	0.3

(単位：%)

区分		むし歯(う歯)			脊柱・ 胸郭・ 四肢の 状態	アトピー 性皮膚 炎	心臓の 疾病・ 異常	蛋白 検出	ぜん息
		計	処置完 了者	未処置 歯のあ る者					
幼稚園	5歳	24.9	10.1	14.9	0.2	1.6	0.3	0.9	1.1
小学校	計	37.0	19.3	17.7	0.8	3.1	0.8	1.0	2.9
	6	30.0	12.3	17.7	0.6	2.9	0.9	0.6	2.9
	7	37.3	18.1	19.3	0.6	3.2	0.8	0.6	2.9
	8	42.8	22.5	20.3	0.8	3.2	0.8	0.7	3.0
	9	44.3	24.4	19.9	0.8	3.2	0.8	0.8	2.8
	10	38.0	21.4	16.6	1.1	3.2	0.7	1.2	2.8
中学校	11	29.9	17.2	12.7	1.2	3.1	0.7	2.0	2.7
	計	28.2	16.8	11.4	1.5	3.0	0.9	2.9	2.2
	12	25.8	15.2	10.6	1.6	3.0	0.9	2.7	2.2
	13	28.2	16.8	11.4	1.5	2.9	0.9	3.1	2.3
高等学校	14	30.7	18.4	12.3	1.5	2.9	0.8	2.9	2.3
	計	38.3	23.8	14.5	1.1	2.7	0.8	2.8	1.7
	15	33.9	20.9	12.9	1.3	2.7	0.9	3.5	1.7
	16	38.2	23.8	14.3	1.1	2.7	0.7	2.7	1.7
	17	43.1	26.8	16.3	1.0	2.6	0.7	2.3	1.8

静岡県児童・生徒身体計測平均値前年度比較表

対前年度差 ○印は上まわっていることを示す ●印は下まわっていることを示す

区分	小学校						中学校						高等学校			
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	計	15歳	16歳	17歳
男子身長	令和4年度	122.6	128.3	133.5	139.0	145.8	153.5	160.5	165.3	168.2	169.6	170.5				
	令和3年度	122.5	127.9	133.2	138.8	145.2	153.0	160.1	165.2	168.1	169.7	170.7				
	対前年度差	○ 0.1	○ 0.4	○ 0.3	○ 0.2	○ 0.6	○ 0.5	○ 0.4	○ 0.1	○ 0.1	○ 0.1	● 0.2				
男子体重	令和4年度	21.3	24.5	27.6	31.1	35.0	39.9	45.2	49.6	54.7	59.8	62.1				
	令和3年度	21.5	24.1	27.3	30.7	34.5	38.9	44.3	48.8	53.4	59.5	61.3				
	対前年度差	● 0.2	○ 0.4	○ 0.3	○ 0.4	○ 0.5	○ 1.0	○ 0.9	○ 0.8	○ 1.3	○ 0.3	○ 0.8				
女子身長	令和4年度	115.7	121.3	127.6	134.1	140.8	147.4	151.9	154.8	156.2	157.4	157.6				
	令和3年度	115.5	121.6	127.6	133.4	140.4	147.1	151.6	154.7	156.2	157.5	157.7				
	対前年度差	○ 0.2	● 0.3	,,,,,,	○ 0.7	○ 0.4	○ 0.3	○ 0.3	○ 0.1	,,,,,,	● 0.2	● 0.1	● 0.1			
女子体重	令和4年度	20.9	23.6	26.9	30.6	34.9	39.9	44.1	47.3	49.3	51.7	52.1				
	令和3年度	21.1	23.7	26.8	30.1	34.4	39.5	43.6	46.8	49.3	51.8	52.4				
	対前年度差	● 0.2	○ 0.1	○ 0.1	○ 0.5	○ 0.5	○ 0.4	○ 0.5	○ 0.5	○ 0.2	○ 0.2	● 0.3				

栄養状態 (瘦身傾向・肥満傾向の割合)

区分	小学校						中学校						高等学校		
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	計	12歳	13歳	14歳	計	15歳	16歳	17歳	
男子瘦身	令和4年度	0.2	0.4	0.7	1.5	2.2	2.5	4.2	4.5	4.1	7.2	8.8	6.6	6.2	
	令和3年度	0.2	0.3	0.8	1.1	2.5	2.3	3.3	2.9	3.5	4.7	6.4	4.2	3.8	
	令和4年度	4.3	8.1	10.3	11.8	13.9	14.6	11.3	12.9	9.6	11.5	9.2	10.2	7.9	9.4
男子肥満	令和3年度	4.6	5.9	9.6	11.0	12.6	11.3	9.8	11.8	9.1	8.3	7.6	8.5	7.1	7.3
	令和4年度	0.4	0.4	0.9	2.0	2.2	2.4	3.7	4.2	3.5	4.4	4.8	4.7	3.8	
	令和3年度	1.3	0.3	1.1	1.9	1.8	2.4	3.1	3.3	3.6	2.5	2.8	3.9	2.2	2.3
女子瘦身	令和4年度	4.0	6.4	7.5	9.1	10.0	9.1	8.3	9.7	8.7	6.6	6.1	6.3	5.9	6.0
	令和3年度	4.6	6.3	7.4	7.5	8.1	8.3	7.2	8.2	6.8	6.6	5.3	5.3	4.6	5.9
	令和4年度	0.3	0.4	0.8	1.7	2.2	2.4	3.9	4.4	3.7	3.8	5.9	6.9	5.6	5.1
女子肥満	令和3年度	0.2	0.3	1.0	1.5	2.2	2.4	3.2	3.1	3.6	3.0	3.8	5.2	3.2	3.1
	令和4年度	4.1	7.3	8.9	10.5	11.9	11.9	9.9	11.4	9.2	9.2	7.7	8.3	6.9	7.8
	令和3年度	4.6	6.1	8.6	9.2	10.4	9.8	8.5	10.0	8.0	7.5	6.5	7.0	5.9	6.6

令和4年度 文部科学省学校保健統計調査における児童生徒身体計測平均値比較表

○印は上まわっていることを示す
●印は下まわっていることを示す

令和4年度

区分	小学校						中学校			高等学校			
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男子	身長	116.1	122.6	128.4	133.5	138.8	145.8	153.7	160.8	165.5	168.7	169.7	171.0
	cm対全国差	●0.9	●0.3	●0.1	●0.4	●0.9	●0.3	●0.3	●0.1	●0.3	○0.1	●0.2	○0.3
女子	身長	117.0	122.9	128.5	133.9	139.7	146.1	154.0	160.9	165.8	168.6	169.9	170.7
	kg対全国差	●0.6	●0.4	●0.5	●0.4	●0.9	○0.3	●0.4	●0.5	●0.4	●0.1	●0.1	●0.1
男子	身長	115.9	121.3	127.9	134.1	141.3	147.5	152.0	155.2	156.4	156.9	157.5	157.7
	cm対全国差	●0.1	●0.7	●0.2	●0.4	●0.1	●0.4	●0.2	○0.3	●0.1	●0.3	●0.2	●0.3
女子	身長	116.0	122.0	128.1	134.5	141.4	147.9	152.2	154.9	156.5	157.2	157.7	158.0
	kg対全国差	●0.4	●0.4	●0.3	●0.5	●0.6	●1.0	●0.2	○0.1	●0.5	●0.5	○0.1	●0.4

静岡県児童・生徒発育状況過去10年間の推移（身長）

男子

年齢	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6歳	116.1	116.1	115.8	116.0	116.0	116.1	117.2	116.5	116.6
7歳	122.3	122.2	122.0	122.0	122.0	122.2	123.1	122.5	122.6
8歳	127.8	127.6	127.6	127.7	127.9	127.8	128.4	127.9	128.3
9歳	133.1	132.9	132.8	133.1	133.1	132.9	133.7	133.2	133.5
10歳	138.4	138.6	138.2	138.6	138.5	138.3	139.1	138.8	139.0
11歳	144.6	144.7	144.7	144.7	144.4	144.5	145.8	145.2	145.8
12歳	152.1	151.7	151.8	152.1	151.8	152.0	153.5	153.0	153.5
13歳	159.0	159.0	159.3	159.3	159.7	159.5	159.9	160.1	160.5
14歳	164.6	164.6	164.5	165.0	164.7	165.0	165.2	165.2	165.3
15歳	167.9	167.1	167.8	167.9	168.1	167.8	168.3	168.1	168.2
16歳	169.4	169.5	169.3	169.5	169.8	169.6	169.4	169.7	169.6
17歳	170.6	170.4	170.0	170.4	170.4	170.3	170.3	170.7	170.5

女子

年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6歳	115.2	115.2	115.3	115.0	115.3	115.1	115.1	116.0	115.5	115.7
7歳	120.8	121.3	121.5	121.0	121.0	121.1	121.0	121.9	121.6	121.3
8歳	126.7	126.9	126.9	126.8	126.9	126.8	127.0	127.8	127.6	127.6
9歳	133.0	134.4	133.0	132.6	132.8	133.1	133.0	134.1	133.4	134.1
10歳	139.8	139.6	139.7	139.5	139.8	139.9	139.7	141.0	140.4	140.8
11歳	146.2	146.6	146.3	146.1	146.1	146.4	146.2	147.2	147.1	147.4
12歳	151.4	151.3	151.2	151.4	151.4	151.2	151.4	151.7	151.6	151.9
13歳	154.3	154.7	154.3	154.4	154.6	154.4	154.4	154.5	154.7	154.8
14歳	156.0	156.0	155.9	156.1	156.2	156.0	156.5	156.3	156.2	156.2
15歳	156.6	156.6	156.9	156.7	156.7	156.9	156.9	156.7	157.0	156.8
16歳	157.1	155.3	157.3	157.1	157.3	157.5	157.2	157.1	157.5	157.4
17歳	157.5	157.6	157.8	157.3	157.4	157.7	157.4	157.5	157.7	157.6

静岡県児童・生徒発育状況過去10年間の推移（体重）

男子

年齢	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6歳		21.0	21.1	21.1	21.0	21.0	21.0	21.1	21.7	21.5	21.3
7歳		23.7	23.7	23.3	23.8	23.6	23.8	24.0	24.6	24.1	24.5
8歳		26.6	26.8	27.2	26.8	26.6	26.8	27.2	27.7	27.3	27.6
9歳		29.4	29.9	29.8	29.9	30.0	30.2	30.3	31.1	30.7	31.1
10歳		33.4	33.5	33.5	33.5	33.4	33.7	33.8	34.9	34.5	35.0
11歳		37.5	37.6	37.6	37.9	37.6	37.7	38.4	39.4	38.9	39.9
12歳		42.7	43.0	42.8	42.8	43.2	42.9	43.4	45.0	44.3	45.2
13歳		47.8	47.8	47.5	47.9	48.4	48.3	48.3	49.3	48.8	49.6
14歳		53.3	53.1	53.1	52.6	53.4	53.3	53.7	54.0	53.4	54.7
15歳		57.9	58.2	57.7	58.2	58.1	57.7	58.5	57.9	57.6	58.4
16歳		60.0	59.7	59.8	59.9	59.5	59.6	59.9	59.5	59.5	59.8
17歳		61.5	62.0	61.9	61.8	61.4	61.7	61.8	62.0	61.3	62.1

女子

年齢	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6歳		20.2	20.6	20.7	20.6	20.7	20.6	20.7	21.1	21.1	20.9
7歳		23.0	23.1	23.2	23.3	23.1	23.1	23.3	23.8	23.7	23.6
8歳		25.9	25.9	26.7	26.2	26.0	26.1	26.4	27.1	26.8	26.9
9歳		29.6	29.5	29.5	29.4	29.3	29.5	29.8	30.5	30.1	30.6
10歳		33.8	33.4	33.4	33.5	33.4	33.7	34.0	34.8	34.4	34.9
11歳		37.8	38.8	38.4	38.4	38.1	38.3	38.5	39.6	39.5	39.9
12歳		42.8	42.8	43.4	42.9	43.4	43.0	43.1	43.5	43.6	44.1
13歳		46.5	46.9	46.6	46.4	47.1	46.5	46.8	47.0	46.8	47.3
14歳		49.0	49.4	49.2	49.4	49.7	49.5	49.7	49.7	49.3	49.3
15歳		51.0	50.7	51.2	51.1	51.0	51.2	51.4	51.3	50.6	50.8
16歳		51.9	51.3	52.1	52.2	51.9	52.3	52.0	52.0	51.8	51.7
17歳		52.3	52.6	52.5	52.7	52.3	52.5	52.4	52.3	52.4	52.1

文科省の統計調査

4 年齢別 都市階級別 設置者別 疾病・異常被患率等 (15-1)

1 計 (1) 計 単位 (%)

Table with 27 columns for various health metrics and 17 rows for age groups from 5 to 17 years old. Includes categories like '視力非矯正者の裸眼視力', '視力矯正者の裸眼視力', and 'その他の疾病・異常'.

Table with 21 columns for dental and medical conditions and 17 rows for age groups from 5 to 17 years old. Includes categories like '永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数', '栄身', and 'その他の疾病・異常'.

(注) 1. この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の推定値(小数点第3位以下を四捨五入)を示したものである。以下の各表において同じ。 2. 被患率等の標準誤差は、受検者数と得られた被患率等により異なるが、むし歯(計)の被患率の標準誤差は幼稚園で0.46、小学校で0.29、中学校で0.35、高等学校で0.48、裸眼視力では幼稚園で1.34、小学校で0.31、中学校で0.62、高等学校で0.96、ぜん息では幼稚園で0.09、小学校で0.07、中学校で0.07、高等学校で0.06、心臓の疾病・異常では幼稚園で0.04、小学校で0.02、中学校で0.03、高等学校で0.02である。 3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.00%のため統計数値を公表しない。以下の各表において同。 4. 結核に関する検診の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会からの意見を聞きながら精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校医の診療の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれる。以下の各表において同じ。

都道府県別 年齢別 疾病・異常被患率等 (静岡県 男女計)

文部科学省資料 R4 静岡県 ① 計

単位 (%)

区分	裸眼視力										矯正視力			眼の疾病・異常			耳鼻咽喉			歯				口腔		その他異常		
	1.0以上					0.7以上					0.3以上			眼の疾病・異常			耳鼻咽喉			むし歯(う歯)		歯列・咬合		歯垢の状態			歯肉の状態	
	計	1.0未満	0.7未満	0.3未満	0.3以上	計	1.0未満	0.7未満	0.3以上	0.3未満	0.3以上	計	眼の疾病・異常	耳疾患	鼻疾患	副鼻腔疾患	口疾咽喉異常	計	処置者	未処置者	計	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態		その他異常	
幼稚園	100.0	76.0	18.2	3.0	0.3	0.7	0.6	1.2	0.1	23.4	18.8	4.2	0.4	1.0	...	0.3	2.5	0.0	21.7	9.3	12.5	3.9	0.1	1.3	0.1	1.9		
小学校	計	100.0	67.4	8.5	8.9	3.6	1.1	3.1	6.3	31.6	9.7	12.0	9.9	3.4	0.5	6.7	11.5	0.7	36.0	20.2	15.8	5.1	0.0	3.6	2.4	9.1		
	6歳	100.0	82.5	8.9	4.2	0.9	1.0	0.9	1.1	16.5	9.8	5.4	1.4	3.4	0.7	10.5	10.1	0.9	26.3	11.6	14.7	3.2	0.0	1.3	0.9	8.8		
	7歳	100.0	77.7	8.9	7.1	1.0	0.9	1.2	1.3	21.4	10.1	8.4	2.9	3.2	0.5	6.7	10.7	1.0	35.8	17.5	18.3	4.4	-	2.6	2.1	7.2		
	8歳	100.0	70.5	9.6	9.2	3.5	1.0	0.8	3.2	28.5	10.4	11.5	6.6	3.1	0.4	6.1	14.1	0.9	41.3	23.3	18.0	4.7	-	3.5	1.9	6.6		
中学校	計	100.0	64.5	7.9	10.5	5.4	0.7	1.3	6.2	34.8	9.2	14.0	11.6	3.5	...	7.3	12.1	0.4	44.5	25.8	18.7	5.9	0.0	3.8	2.9	9.9		
	12歳	100.0	58.0	8.7	11.0	4.6	1.4	1.3	4.1	40.6	10.0	15.2	15.5	3.6	0.4	4.6	11.6	0.6	37.9	23.5	14.4	5.7	0.0	4.9	2.2	12.0		
	13歳	100.0	53.4	7.4	10.8	4.9	1.4	1.3	5.9	45.3	8.7	16.8	19.8	3.3	...	5.4	10.5	0.5	29.9	19.0	10.9	6.7	0.0	5.3	4.0	9.8		
	14歳	100.0	39.9	8.7	11.2	5.4	0.6	1.0	6.5	59.5	9.7	17.7	32.1	4.5	0.3	7.3	10.6	0.4	22.6	14.5	8.1	5.0	0.1	4.4	3.5	5.4		
高等学校	計	100.0	43.7	9.5	12.1	5.2	0.6	0.8	5.3	55.8	10.3	17.4	28.1	4.6	0.3	9.0	9.7	0.5	20.4	12.5	7.9	5.6	0.1	4.8	3.4	7.9		
	15歳	100.0	39.2	8.5	11.5	5.9	0.8	0.9	7.9	60.0	9.4	19.4	31.2	5.1	...	5.6	12.8	0.3	22.8	14.2	8.5	5.0	0.2	4.4	3.8	5.4		
	16歳	100.0	36.9	8.1	10.1	5.2	0.4	1.2	6.3	62.7	9.4	16.3	37.0	3.9	0.2	7.3	9.4	0.4	24.6	16.8	7.7	4.5	0.1	4.1	3.2	3.1		
	17歳	100.0	25.9	8.0	7.6	5.3	0.2	0.6	6.5	46.0	73.9	8.6	14.0	1.4	0.3	2.8	4.0	0.1	37.3	25.6	11.7	4.9	0.3	4.0	3.6	1.9		
計	100.0	26.1	8.3	9.0	6.5	0.3	0.8	4.3	43.0	73.5	9.1	15.0	49.5	1.7	0.3	6.1	9.8	0.1	32.2	21.6	10.5	5.3	0.2	4.1	3.7	2.3		
計	100.0	26.3	8.0	7.8	5.3	0.1	0.4	6.4	45.6	73.6	8.5	14.3	50.9	1.4	...	1.8	0.2	38.1	26.2	11.9	5.4	0.2	4.0	3.5	1.9			
計	100.0	25.3	7.8	5.9	4.0	0.1	0.6	6.9	49.3	74.6	8.4	12.8	53.4	1.1	0.3	0.4	1.9	0.0	41.8	29.2	12.6	4.1	0.3	3.9	3.6	1.6		

区分	永久歯の1人当り平均むし歯(う歯)等										その他の疾病・異常															
	喪失歯数(本)		むし歯(う歯)数(本)		養分状態		せき柱・胸郭・歯		皮膚疾患		結核		心疾患		心電図異常		蛋白検出		尿糖検出		腎臓疾患		言語障害		その他異常	
	計	処置者	未処置者	計	処置者	未処置者	計	異常	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	精密検査の対象者	結核	心疾患	心電図異常	蛋白検出	尿糖検出	腎臓疾患	言語障害	その他異常							
幼稚園
小学校	計
	6歳
	7歳
	8歳
中学校	計
	12歳
	13歳
	14歳
高等学校	計
	15歳
	16歳
	17歳

令和4年度 静岡県教育委員会 朝食摂取状況調査報告書

1 調査の目的

子供たちの朝食欠食や偏った栄養摂取などは、生活習慣病の低年齢化や心の健康問題にも大きな影響を与えていると指摘されていることから、朝食摂取状況を調査して実態を把握し、学校（幼稚園・認定こども園を含む）・家庭・地域における「食育・食に関する指導」の資料とする。

2 調査期間

令和4年10月3日（月）から11月4日（金）までの「登校（登園）する日」1日に実施。

3 調査種類及び対象

(1) 全園・全校調査

【調査対象】

- 公立幼稚園及び公立こども園の年長児学級全幼児
- 公立小中学校（中等部）の全児童生徒
- 公立高等学校の全生徒



	幼稚園 こども園	小学校	中学校 中等部	高校 (全日)	高校 (定時)	合計
調査人数	4,629 人	168,067 人	82,062 人	51,900 人	1,811 人	308,469 人

(2) 抽出調査

【調査対象】

- 各市町の公立幼稚園又は公立こども園各1園の年長児学級1学級
- 各市町の公立小学校各1校の5、6年生各1学級、公立中学校各1校の2年生1学級
- 県立高等学校（全日制課程）9校の2年生1学級

	年長児	小学5年生	小学6年生	中学2年生	高校2年生 (全日)	合計
調査人数	450 人	805 人	875 人	932 人	316 人	3,378 人

※令和元年度より、小学5年生調査を追加。

4 調査結果

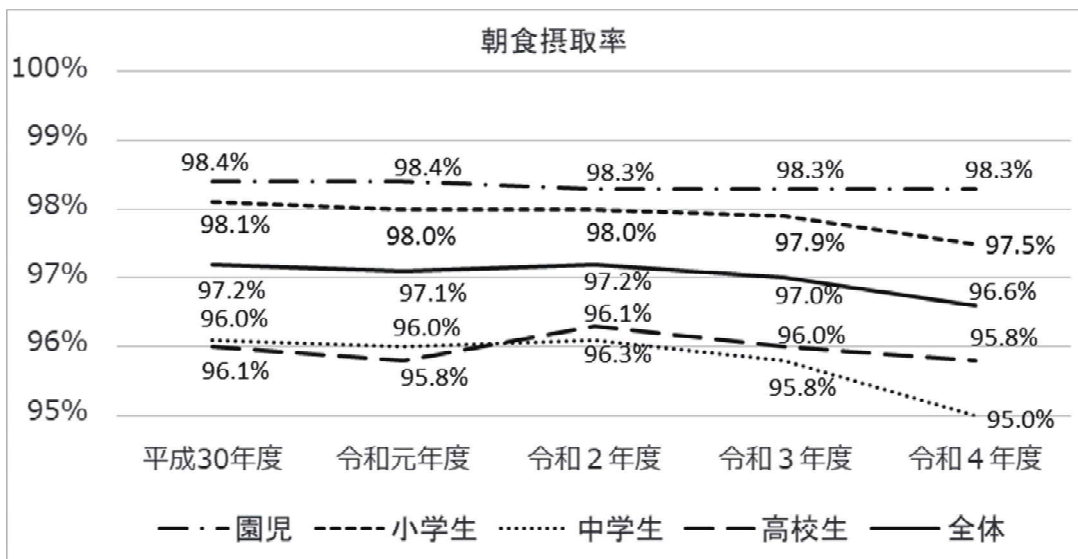
(1) 全園・全校調査

ア 朝食摂取率

朝食摂取率は、全体では96.6%と昨年度に比べてわずかに下がる結果に。

朝食摂取率は、全体では昨年度に比べ0.4ポイント下がり、96.6%という結果であった。園児は昨年度と同値だったが、小学生、中学生、高校生（全日）は昨年度より0.2～0.8ポイント下がった。全体の朝食摂取率は、ここ数年ほぼ横ばい傾向である。

	園児	小学生	中学生	高校生 (全日)	全体
令和4年度	98.3%	97.5%	95.0%	95.8%	96.6%
令和3年度	98.3%	97.9%	95.8%	96.0%	97.0%



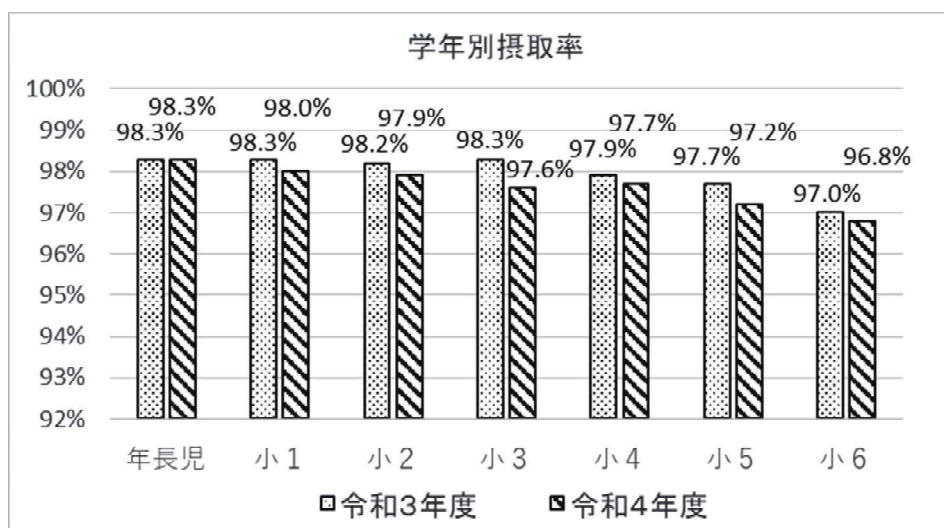
イ 学年別朝食摂取率

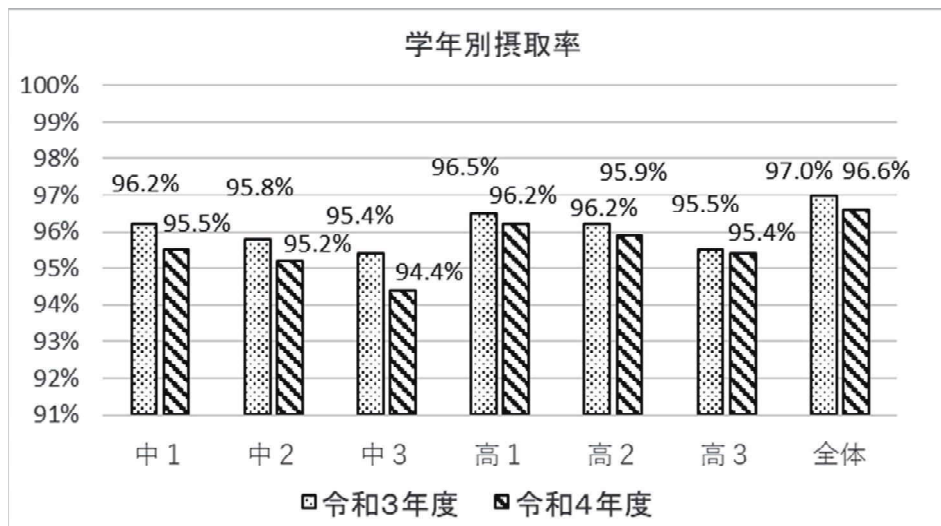
学年別で見ると、摂取率が上がった学年はなかった。

学年別朝食摂取率は、昨年度と比べ、年長児で同値だったが、小学生、中学生、高校生で0.1～1.0ポイント下がり、上がった学年はなかった。

	年長児	小1	小2	小3	小4	小5	小6
令和4年度	98.3%	98.0%	97.9%	97.6%	97.7%	97.2%	96.8%
令和3年度	98.3%	98.3%	98.2%	98.3%	97.9%	97.7%	97.0%

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	全体
令和4年度	95.5%	95.2%	94.4%	96.2%	95.9%	95.4%	96.6%
令和3年度	96.2%	95.8%	95.4%	96.5%	96.2%	95.5%	97.0%



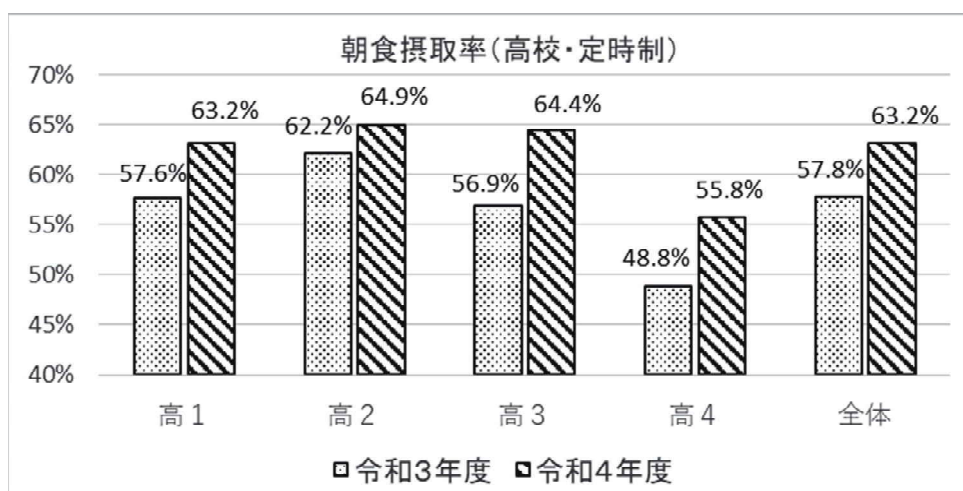


ウ 高等学校夜間定時制課程朝食摂取率

高校（定時制）の全体では、昨年度と比べ5.4ポイント上がった。

高校定時制では、昨年度と比べ、1年生は5.6ポイント、2年生は2.7ポイント上がり、特に3年生は7.5ポイント、4年生は7.0ポイントと大きく上がった。全体では、5.4ポイント上がる結果となった。

	高1	高2	高3	高4	全体
令和4年度	63.2%	64.9%	64.4%	55.8%	63.2%
令和3年度	57.6%	62.2%	56.9%	48.8%	57.8%



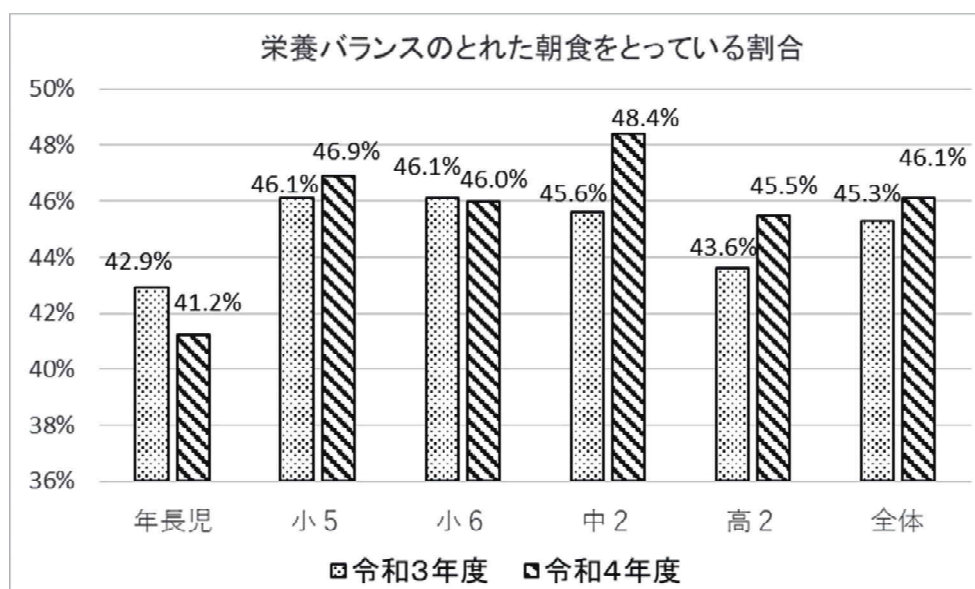
(2) 抽出調査

ア 栄養バランスのとれた朝食をとっている（朝食に、赤・黄・緑の3種類の食品を食べた）者の割合

栄養バランスのとれた朝食摂取の割合は、昨年度に比べて微増。

「栄養バランスのとれた朝食」の数値は、全体では昨年度より0.8ポイント上がり46.1%となった。校種・学年別では、小学5年生は0.8ポイント、中学2年生は2.8ポイント、高校2年生は1.9ポイント上がった一方で、年長児は1.7ポイント、小学6年生は0.1ポイント、昨年度より下がった。

	年長児	小5	小6	中2	高2	全体
令和4年度	41.2%	46.9%	46.0%	48.4%	45.5%	46.1%
令和3年度	42.9%	46.1%	46.1%	45.6%	43.6%	45.3%

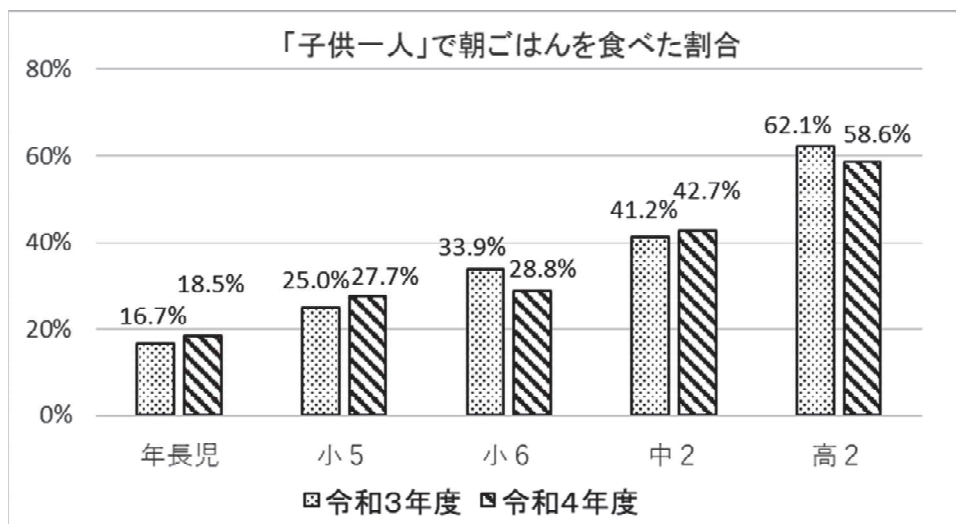


イ 「子供一人」で朝食を食べた割合

子供一人で朝食を食べた割合は、学年が上がるにつれて増加。

「子供一人」で朝食を食べた割合は、昨年度と比べ、小学6年生は5.1ポイント、高校2年生は3.5ポイント下がったが、年長児は1.8ポイント、小学5年生は2.7ポイント、中学2年生は1.5ポイント上がった。

	年長児	小5	小6	中2	高2
令和4年度	18.5%	27.7%	28.8%	42.7%	58.6%
令和3年度	16.7%	25.0%	33.9%	41.2%	62.1%

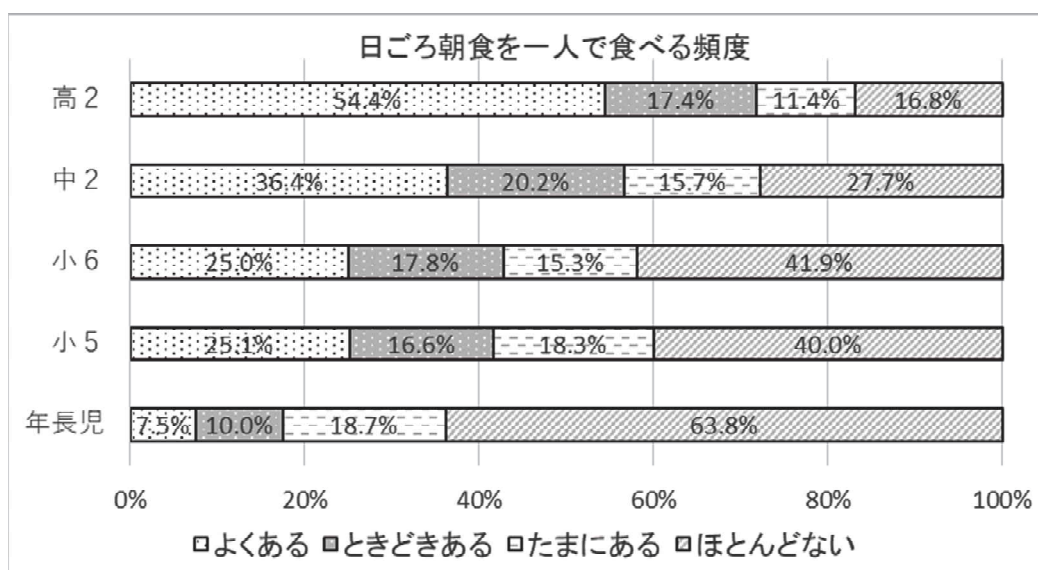


ウ 日ごろ「子供一人」で朝食を食べている割合

高校2年生の約半数が、日ごろ朝食を一人で食べている。

朝食を一人で食べる習慣について、よくあると回答した年長児は7.5%、小学5年生は25.1%、小学6年生は25.0%、中学2年生は36.4%、高校2年生（全日）は54.4%であった。よくある・ときどきあると回答した割合は、年長児で17.5%、小学5年生で41.7%、小学6年生で42.8%、中学2年生で56.6%、高校2年生で71.8%という結果となり、学年が上がるにつれ、朝食を一人で食べている割合は増加する傾向にある。

	年長児	小5	小6	中2	高2
よくある	7.5%	25.1%	25.0%	36.4%	54.4%
ときどきある	10.0%	16.6%	17.8%	20.2%	17.4%
たまにある	18.7%	18.3%	15.3%	15.7%	11.4%
ほとんどない	63.8%	40.0%	41.9%	27.7%	16.8%

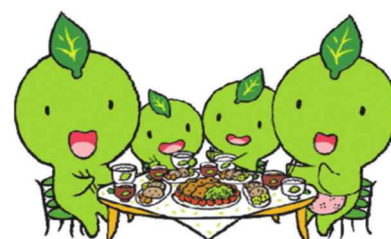
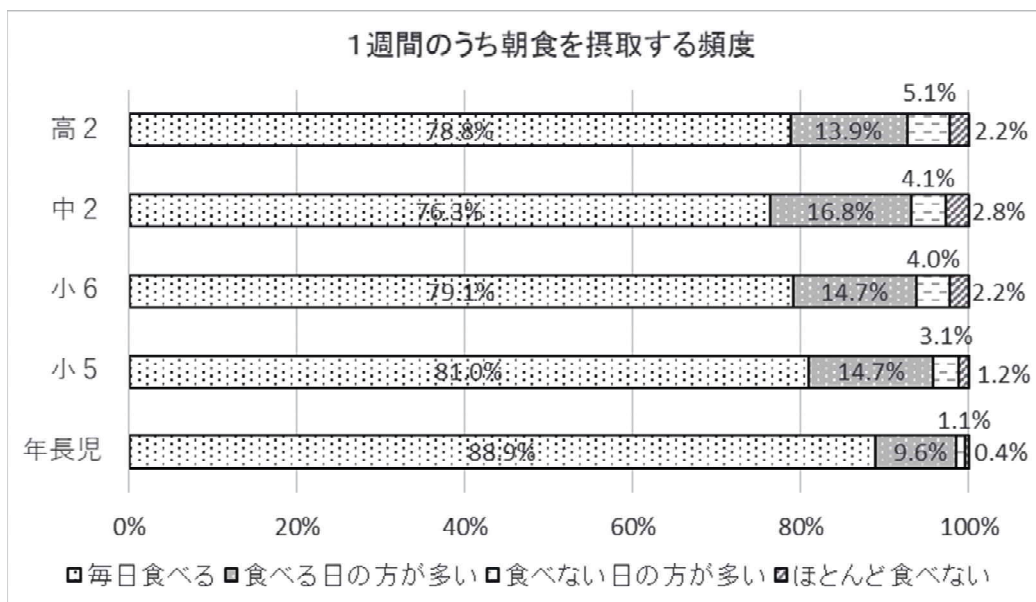


エ 1週間のうち朝食を摂取している日の割合

小学校6年生以上の児童生徒の約6%は、朝食を食べる習慣が身に付いていない。

朝食を摂取する習慣について、毎日食べる・食べる日の方が多いと回答した年長児は98.5%、小学5年生は95.7%、小学6年生は93.8%、中学2年生は93.1%、高校2年生は92.7%という結果となった。他方、食べない日の方が多い・ほとんど食べないと回答した割合は、年長児は1.5%、小学5年生は4.3%、小学6年生は6.2%、中学2年生は6.9%、高校2年生は7.3%という結果となった。

	年長児	小5	小6	中2	高2
毎日食べる	88.9%	81.0%	79.1%	76.3%	78.8%
食べる日の方が多い	9.6%	14.7%	14.7%	16.8%	13.9%
食べない日の方が多い	1.1%	3.1%	4.0%	4.1%	5.1%
ほとんど食べない	0.4%	1.2%	2.2%	2.8%	2.2%

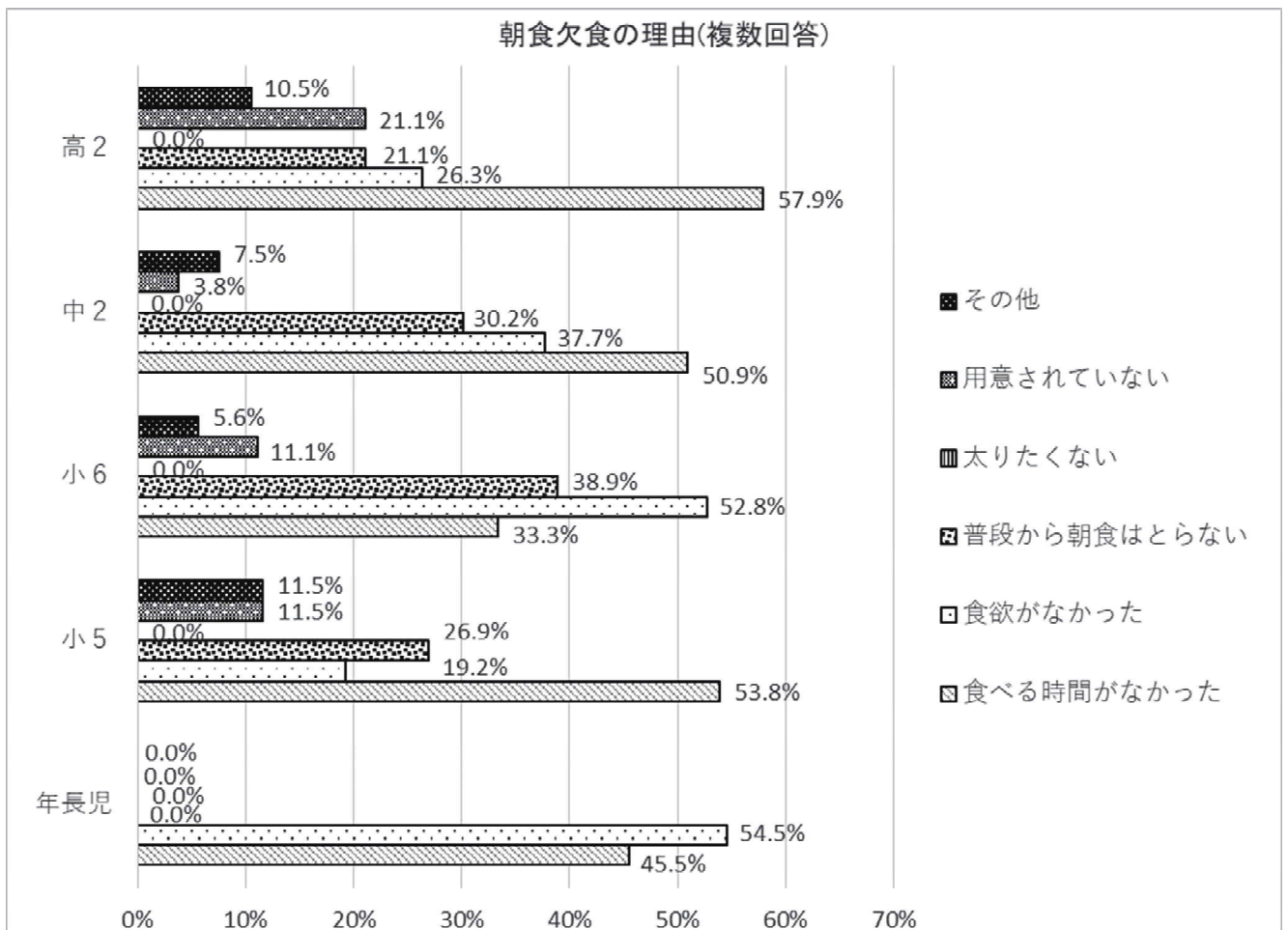


オ 朝食欠食の理由（複数回答あり）

朝食欠食の主な理由は、「食べる時間がない」、「食欲がなかった」。

朝食欠食の理由は、ほとんどの学年が「食べる時間がない」が最も多かった。次いで「食欲がなかった」、「普段から朝食はとらない」が主な理由として挙げられた。

調査対象人数	年長児 11人	小5 26人	小6 36人	中2 53人	高2 19人
食べる時間がない	45.5% (5人)	53.8% (14人)	33.3% (12人)	50.9% (27人)	57.9% (11人)
食欲がなかった	54.5% (6人)	19.2% (5人)	52.8% (19人)	37.7% (20人)	26.3% (5人)
普段から朝食はとらない	0.0% (0人)	26.9% (7人)	38.9% (14人)	30.2% (16人)	21.1% (4人)
太りたくない	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
用意されていない	0.0% (0人)	11.5% (3人)	11.1% (4人)	3.8% (2人)	21.1% (4人)
その他	0.0% (0人)	11.5% (3人)	5.6% (2人)	7.5% (4人)	10.5% (2人)

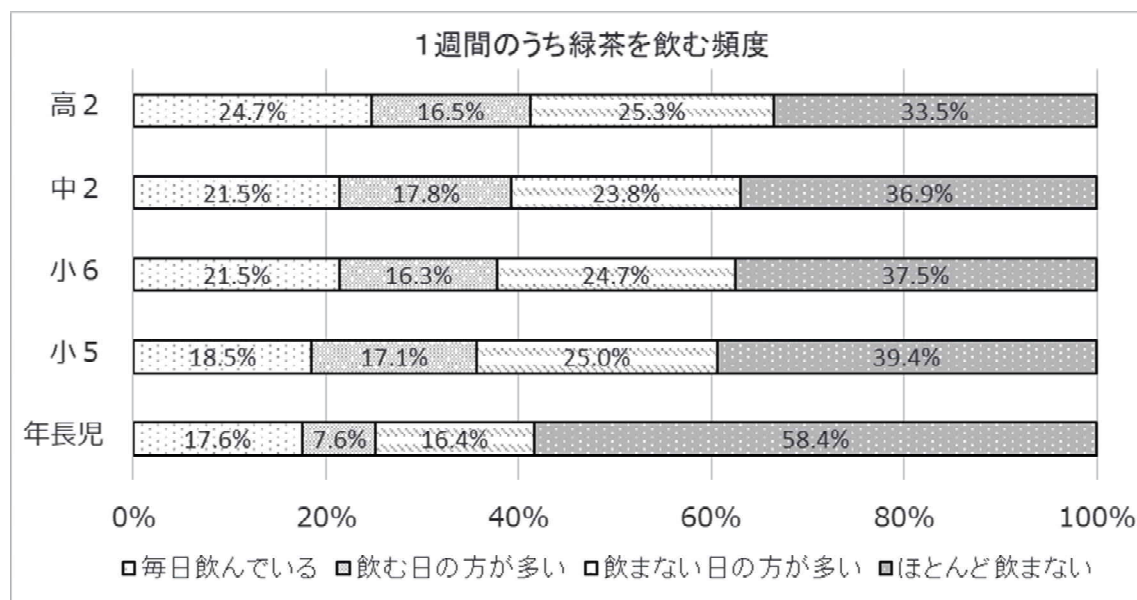


カ 1週間のうち家庭で緑茶を飲んでいる日の割合

家庭で緑茶を飲む習慣がある子供の割合は、高校2年生で最も高く約4割。

毎日飲む・飲む日の方が多い子供の割合を合わせると、年長児は25.2%、小学5年生は35.6%、小学6年生37.8%、中学2年生39.3%、高校2年生41.2%という結果となった。

	年長児	小5	小6	中2	高2
毎日飲んでいる	17.6%	18.5%	21.5%	21.5%	24.7%
飲む日の方が多い	7.6%	17.1%	16.3%	17.8%	16.5%
飲まない日の方が多い	16.4%	25.0%	24.7%	23.8%	25.3%
ほとんど飲まない	58.4%	39.4%	37.5%	36.9%	33.5%



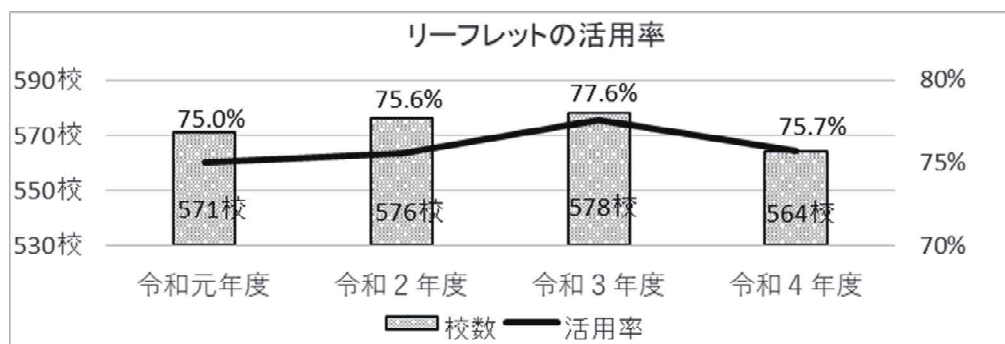
(3) 小中学校調査

食育啓発リーフレットは約78%の小中学校で有効に活用。

食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」は、小中学校 75.7% (564 校) で有効に活用されており、そのうちの 80.5% (454 校) が今後も活用したいと回答している。

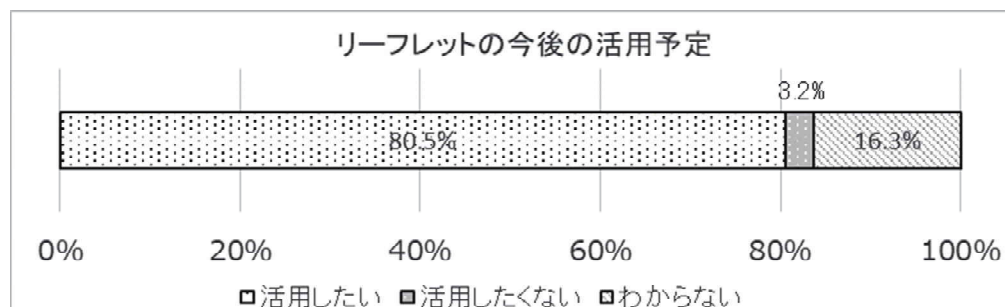
ア 食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」を活用した割合

	校数	活用率
令和4年度	564 校	75.7%
令和3年度	578 校	77.6%
令和2年度	576 校	75.6%
令和元年度	571 校	75.0%



イ 食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」の今後の活用予定
※アで「活用した」と回答した学校のみ

	校数	割合
活用したい	454 校	80.5%
活用したくない	18 校	3.2%
わからない	92 校	16.3%



5 まとめ

(1) 学校と家庭が連携し、朝食摂取率 100%を目指しましょう。

「食べることは生きること。」朝食を摂取することは、子供たちが一日を有意義に過ごすための活力となります。また、家族との共食は、子供たちの心の栄養にもなります。子供たちの健康な心身を育むためには、栄養バランスのとれた食事や共食、朝食摂取等の健全な食生活は欠かせないものです。さらに、食生活の乱れは将来の生活習慣病発症につながる恐れがあるため、子供の頃から望ましい食習慣を形成することが必要です。朝食を摂取しない理由で最も多いのは「食べる時間がない」であり、食べる時間を生み出すためには、乱れた生活が習慣化する前に「早く起きる」「早く寝る」といった望ましい生活習慣を身に付ける指導が必要です。

朝食摂取状況及び共食の推進は、国の第4次食育推進基本計画及び県のふじのくに食育推進計画において目標として掲げられている重点課題です。食事がコミュニケーションの場となることで、食べる楽しさや、食事のマナー、食べ物について学ぶ場にもなります。そのため、共食を推進する取組も必要です。

(2) 家庭における実践につながる指導の工夫が求められています。

多くの園及び学校では、家庭へのおたより、給食の時間の放送、健康観察、読み聞かせ、学級担任の日々の声掛けなど、あらゆる機会において、子供たちや家庭に対して朝食摂取の重要性を啓発する指導が行われ、朝食についての理解が深められています。また、学校によっては、養護教諭や栄養教諭等と連携して、体育科（保健体育科）、家庭科（技術・家庭科）及び特別活動等の時間を活用し、実践につながる指導が行われています（資料 抽出園・校で実施している朝食指導一覧）。一方で、朝食指導に取り組んでいない園及び学校があるため、家庭へのおたより、給食の時間の放送等、取り組みやすい朝食指導の方法を周知するなどの対応が必要です。

朝食摂取状況の改善は、授業や学級活動の中で行われる集団指導だけで解決することが難しい個別性の高い課題であることから、個別的な相談指導を併用することが重要であるとともに、家庭の理解が必要となります。静岡県教育委員会では、子供たちの朝食摂取状況を調査後、具体的な実践につなげる指導を実施する教材として、また、家庭に啓発する教材として、県内全小学5年生及び中学1年生を対象に、食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」を配布しています（ホームページからリーフレットのPDFファイルをダウンロード可）。こうした教材を養護教諭及び栄養教諭等と連携し、積極的に朝食指導に活用することが望まれます。

食事の大半は家庭で行われることから、本来食育は家庭で行われるものでありますが、家庭の食に関する教育力が低下している今日では、児童生徒が学校で学んだことを保護者につなげ、家庭の食に関する教育力の向上を目指すことも重要です。子供たちの食の自己管理能力を育むため、校長のリーダーシップのもと、全教職員が連携・協力し、養護教諭及び栄養教諭等の健康教育の専門職を中心に、子供たちの実践につながる食に関する指導を行うとともに、子供たちが生涯を通じて健康な生活を送るために、家庭への啓発、家庭と連携した食育のさらなる推進が求められています。

(3) お茶を淹れて“おもてなし”ができる素敵で健康な人になってほしい。

お茶は静岡県の代表的な地場産物であり、飲み続けることで、健康増進が図られるだけでなく、学力・体力の向上にも良い影響があるといわれていますので、子供の頃からお茶を飲む習慣を身に付けたいものです。また、家庭でお茶を飲むことは、家族との共食のきっかけ作りとなり、コミュニケーションが図られます。さらに、お茶のおいしい淹れ方を身に付けることで、お茶を淹れて人をもてなすことができ、良好な人間関係の形成に役立ちます。

本県では「小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」により、学校で静岡茶を飲む機会及び静岡茶を学ぶ機会を設定し、お茶の愛飲を子供の頃から定着させる取組を進めています。具体的には、児童生徒が持参する水筒の中身を静岡茶にして、学校で静岡茶を飲む推奨期間を設定するといった工夫が考えられます。また、学校で静岡茶を学ぶ機会の提供については、小学5年生・家庭科「加熱用調理器具の安全な取扱い」において、静岡茶でお茶を淹れたり、中学校においては、技術・家庭の調理実習の際に、静岡茶を淹れて飲んだりといった工夫が考えられます。地域や学校の実態に応じた取組により、静岡茶の食育を推進してください。

6 参考

【本調査に関わる指標】

<第4次食育推進基本計画（国）>

項目	目標値
朝食を欠食する子供の割合	0%
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週11回以上

<第3次ふじのくに食育推進計画（静岡県）>

項目	目標値
朝食を毎日食べる幼児、児童、生徒の割合の増加	100%に近づける
栄養バランスのとれた朝食をとっている幼児・児童・生徒の割合の増加	幼児 50% 小6年 55% 中2年 50% 高2年 50%
朝食を一人で食べる子どもの割合の減少	減少傾向へ
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	1週間に10回以上
緑茶を毎日飲む者の割合の増加（20歳以上）	70%